

アスリートの肖像

文／佐藤双葉（編集部）
撮影／築田純

体操

寺本明日香



平

均台の上で見事なバランスをと
り、床では軽やかに舞う。段違
い平行棒でダイナミックな演技
を見せ、勢いよく跳馬を跳ぶ。

この4種目で競う女子体操競技。身長
142cmのひと際小さな体で、世界を舞
台に戦い続けるのが寺本明日香選手だ。
鉄棒を習いたい、と小学1年生の時に自
ら体操の世界に飛び込んだ寺本選手。み
るみるうちに才能を伸ばし、2011年
15歳の時、世界選手権の代表に選ばれ、
そして翌年にはロンドン五輪出場。「そ
の時はびっくりして、現実味がありませ
んでした。怖いもの知らずで、いけるん

じゃないかみたい（笑）。世界選手権
と五輪に出て、初めて世界を意識しまし
た」。ロンドン五輪では個人11位、団体
総合8位入賞。4年後のリオデジャネイ
ロ五輪では、個人8位入賞、団体総合4
位と、現在24歳にして成績もキャリアも
確実に積み重ねてきた。

最近では団体総合のキャプテンとして、
チームを率いる場面も増えた。自らを
「細かいことは言わず、背中です引く張っ
ていくタイプ」のキャプテンだと言う。
「体操は個人競技ですから、自分のした
い演技を発表する場。自分に勝つことが
メインだと思っています。でも団体のキ

ャプテンは、それだけじゃダメ。自分の
ことで精いっぱいにならないように、練
習の段階で熟練性を高めて、自分自身の
演技は余裕を持っておかないと」
しかし、今年2月、アキレス腱断裂と
いう試練が彼女に襲いかかった。

「どれだけ自分に挑戦できるか、だと思
います。そして、五輪に出て自分自身が
満足できるように、後悔なく一日一日を
大切に過ごしていきたいです」

取材時、そう語っていた寺本選手。東
京五輪では、リオデジャネイロ五輪であ
と一歩届かなかった表彰台で彼女の姿を
見られることを祈りたい。 **S**



てらもと あすか／1995年、愛知県生まれ。
ミキハウス所属。小学1年生の時、レジャ
スポーツ・レッツ体操クラブに入り、翌年か
ら選手コース生に。その後、国内・海外のジ
ュニア大会で着実に結果を残す。2011年、
世界選手権の日本代表に。12年ロンドン
五輪に出場を果たす。16年リオデジャネイ
ロ五輪では、団体総合でメダル獲得に迫る
4位入賞に大きく貢献した。

自分との戦いに勝つために

Fly for it!

一緒に、もっと飛べる。

